

## 感染症検査の実施について

千葉県立佐原病院では、患者さまの健康状態をできるだけ正確に知り、治療や検査をお互いの信頼と安全の上に実施したいと考えております。

そのため、手術、薬物治療、処置、検査（内視鏡検査、血管造影検査など）の前や必要時に、皆様に感染症の検査をうけていただいております。症状もないのにと疑問に思われるかもしれませんが、知らないうちに何かの感染症にかかっていることがあります。また、普段は活動していなくても、様々な治療による大量低下や薬剤の影響がきっかけとなり深刻な病状を起こす細菌やウイルスがあります。

これらを前もって知ることは、患者さまの治療方針を決める上で非常に大切です。また医療従事者への感染を防ぐことも目的です。

通常、検査する項目は肝炎ウイルス、エイズウイルス（H I V）、梅毒トレポネーマ、ヒトT細胞白血病ウイルスなどですが、必要に応じて項目の一部を省略あるいは追加する場合があります。検査結果につきましては、プライバシーの保護を遵守いたします。

もしご不明の点などございましたら、主治医もしくはスタッフに遠慮なくお申し出ください。

令和5年7月4日 千葉県立佐原病院 病院長